

スイートコーン

4月の農作業

作型 収穫適期の幅が狭いので、一度に多くまかないで、計画的に栽培する。一株に一穂収穫するように除房する。花粉が十分に雌穂にかかるように、一列に植えないようにする。マルチ栽培も良い方法。

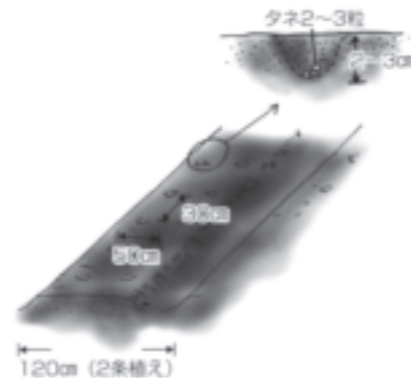
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春まき				○	○		■	■	■	■			キャンベラ(黄種)、カクテル ピーターコーン(白黄粒)

○：種まき ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	15kg
BMようりん	2kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥 a当たり	
野菜専用肥料	10kg
畝立時施用	

- 2条まき：畝幅120cm 株間30cm 条間50cm
- 1ヶ所2～3粒まきとし、2～3cmの覆土をする。
- ポットまきの場合、2～3粒播種し、草丈10cm位で1本に間引き、15cmで定植する。



間引き・追肥・土寄せ

本葉4～5枚時：間引いて1本立ちとし、その後、追肥、土寄せを行う。(草丈15cm頃)
草丈70～80cm頃：土寄せを行う。
雄穂の出る頃：追肥後、土寄せを行う。
(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料5kg/a)



除房

- 最上位の第一雌穂を残し、他は早めにかき取る。

防除

病虫害名	耕種防除	薬剤防除
アワノメイガ	幼虫を見つけしだい捕殺する	トレボン乳剤(1,000倍) 7日前まで4回
アワヨトウ	除草を行う	

収穫

- 絹糸が出て3週間後
- 絹糸が黒褐色となった頃
- 気温の低い朝に収穫する。
(時間の経過とともに水分糖度が低下するので予冷を行う。)



裏面はスイートコーンを掲載しています。
農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

水稻一発肥料 (エムコート282)

4月の農作業

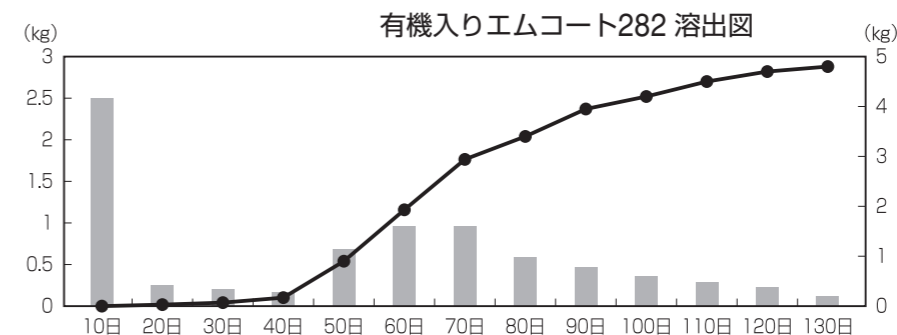
■水稻一発肥料(エムコート282)

水稻の一発肥料とは基肥時の施用で、その後の追肥を必要としない施肥方法です。

水稻一発肥料の施用方法は、代かき後に動噴等を用いてムラのないように均一に散布してください。代かき後に施用することで、肥料が田の表面にあるため、根が肥料を吸収しやすく、生育を良くするねらいがあります。過剰な施肥やムラのある施肥は稲が過繁茂になり、軟らかくなってしまい倒状や病気の原因にもなりますので、基準の施用量を守ってください。



一発肥料は、水温が低いと溶けにくく、生育初期の葉色が薄くなったり、生育が遅くなる場合がありますが、この時期に追肥をしないようにしてください。(過繁茂の原因となります。)
また、水温が低い圃場では生育に応じて穂肥(みのり有機)が必要な場合があります。(生育に応じて10a当たり20kgまでの施用)



生育初期は速効性の肥料成分、生育中期は緩効性の肥料成分が効き、施肥後45日頃から中間追肥にあたる肥料成分が効き始めます。

施用基準

	コシヒカリ	施肥量	窒素	リン酸	加里
基肥	有機入りエムコート282 (窒素：リン酸：加里=12：8：12)	40kg	4.8kg	3.2kg	4.8kg
*キヌヒカリは50kgとしてください。					

裏面はスイートコーンを掲載しています。
農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。